

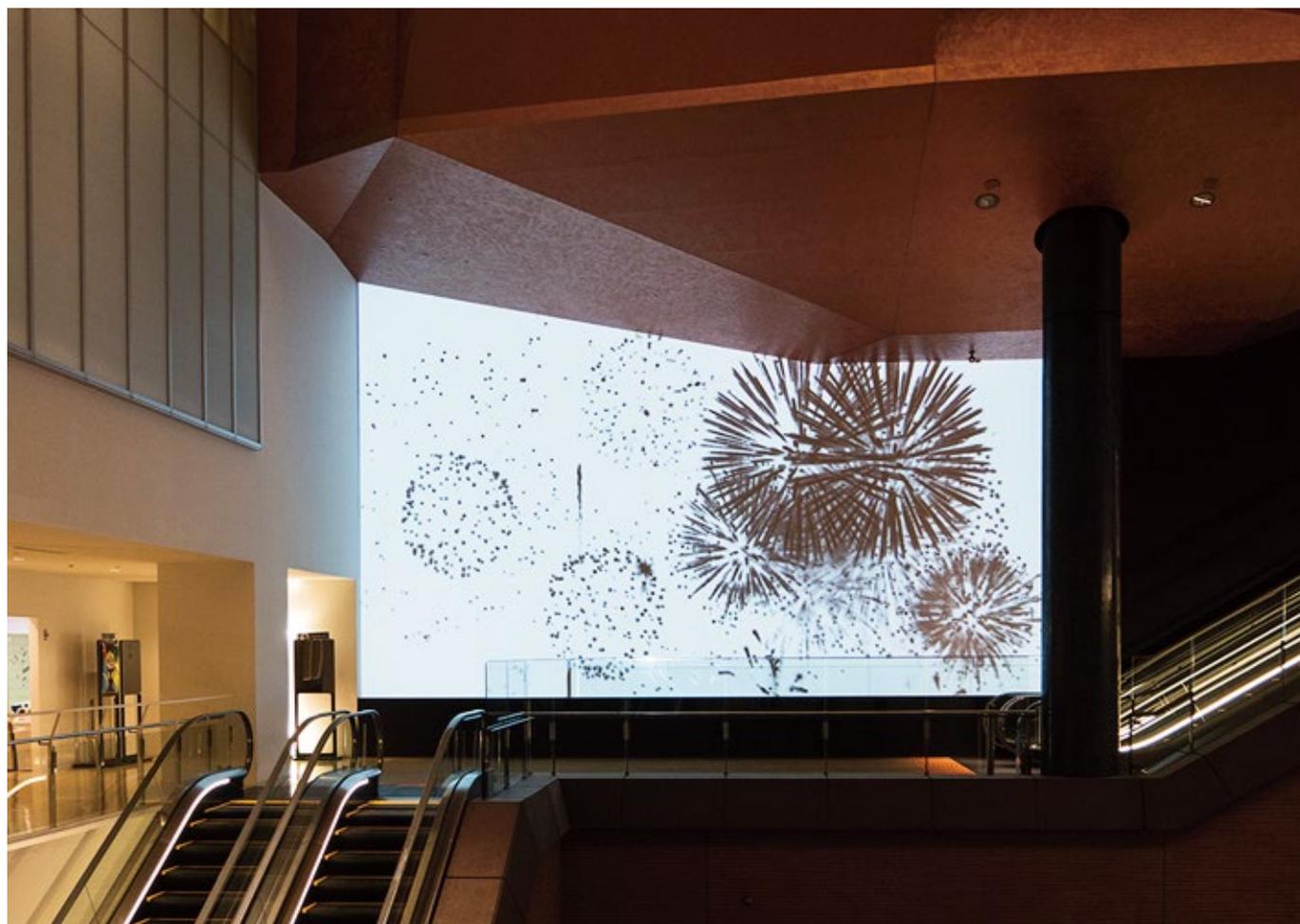
# Light and Shade

15 February- 15 March,2019

水野勝規

中村眞美子

三輪奈保子



展示風景-水野勝規「fireworks」

シングルチャンネルビデオ、サイレント 2019年

(「KAATアトリウム映像プロジェクト 水野勝規」神奈川芸術劇場 [KAAT] アトリウム / 横浜、2019年)

press releacc: "Light and Shade" Mizuno Katsunori, Nakamura Mamiko, Miwa Naoko

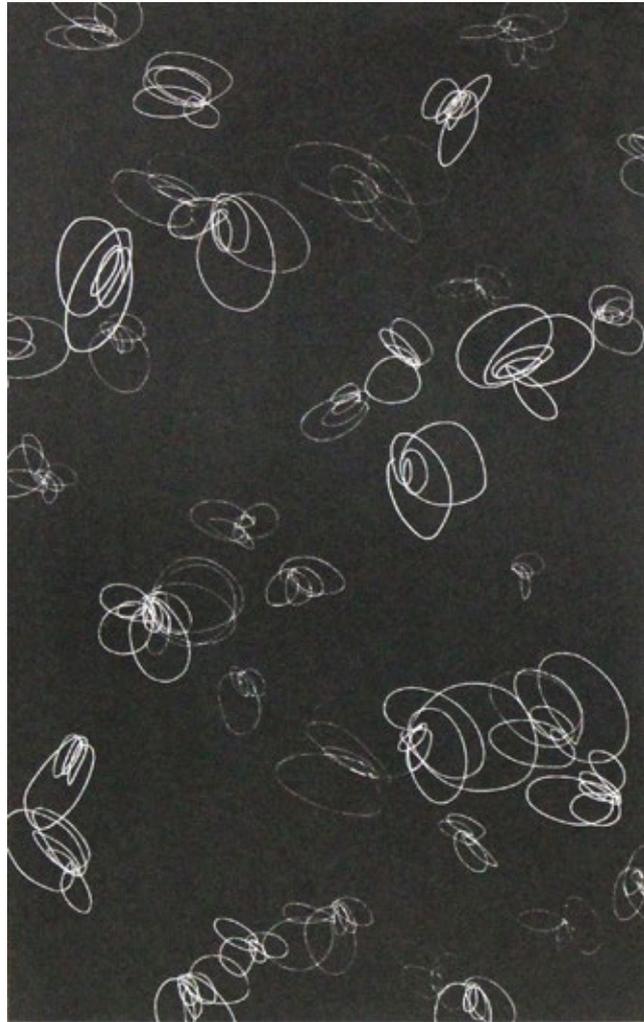


中村真美子「秋から冬へ8」  
ドライポイント  
120×90(cm)  
2013年

— 展覧会概要 —

- 展覧会名: Light and Shadow (ライト・アンド・シャドウ)
- 参加作家: 水野勝規 中村真美子 三輪奈保子
- 会期: 2020年2月15日(土)～3月15日(日)
- 開廊時間: 12:00-18:30
- 休廊日: 月火曜日
- 会場: GALLERY CAPTION  
〒500-8846 岐阜市玉姓町3-12 伊藤倉庫2F tel 058-265-2336  
<http://www.gallerycaption.info/>
- アクセス: JR岐阜駅「北口」、名鉄岐阜駅より徒歩5分
- お問い合わせ: 担当/ 山口 (冬期休廊12/28-1/14 および月火曜日をのぞく 12:00-18:30)  
tel 058-265-2336 fax 058-265-5715 caption@mbe.nifty.com

press release: "Light and Shade" Mizuno Katsunori, Nakamura Mamiko, Miwa Naoko



三輪奈保子  
「memo-memos-memors」  
スクリーンプリント  
36.5×25.8(cm) 2018年

ギャラリーキャプションでは水野勝規、中村眞美子、三輪奈保子によるグループ展「Light and Shade」を開催いたします。「Light and Shade／明暗」は光の陰影、そして色の濃淡を表す言葉でもあります。本展では、3作家のモノクローム作品により、光と影、そして白と黒の濃淡とが導き出すそれぞれの世界をご紹介します。

水野勝規(1982年三重県生まれ)は、自然や何気ない日常の風景をとらえた映像作品を制作しています。それらはモノクロ、カラーを問わず、カメラワークを一切排除した定点から撮影した場面によって展開し、また常にサイレントであることが特徴的です。展示作品「fireworks」では、撮影した作品を反転、加工することで、まるで白い画面に花火が描かれるように映し出されます。

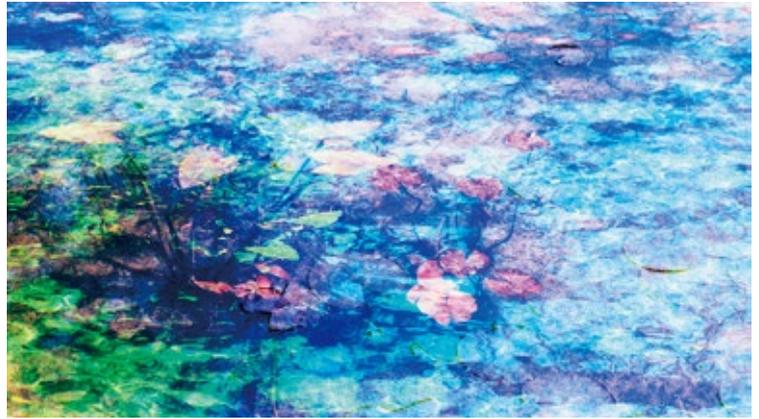
長野を拠点とする版画家 中村眞美子(1972年長野県生まれ)は近年、雪のなかに見える枯れ草をモチーフとした作品を制作しています。それまでひとつくりの集まりとして見ていた草花が、ある時、一面の雪の白に映える、ひとつひとつの姿と見いだされた美しさと、それら少しづつ土へと還りゆく冬の静かな風景が表されます。

三輪奈保子(1995年東京都生まれ)は今年、東京造形大学大学院を修了したばかりの新進作家です。彼女もまた、主に版画に取り組みながら、木炭によるドローイングや、麻ひもを編み込んだ作品など、様々な素材を用いて制作しています。版を介してとなりあう光と影、虚と実の表れ、また線や紐の複雑かつ単純なつながり、その集積をつうじて、人間の記憶や意識の変化をたどろうと試みています。

尚、中村眞美子と三輪奈保子は、当廊では初めての展示となります。

会期中には是非ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

## 水野勝規 | MIZUNO Katsunori



参考作品-「holography」

シングルチャンネルビデオ／4K、サイレント 10分 2018年

- 1982年 三重県生まれ
- 2005年 名古屋造形芸術大学美術学科総合造形コース卒業
- 2008年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻造形構想修了
- 2004年 カーネギーメロン大学短期交換留学（ピッツバーグ、アメリカ）

## 【主な個展】

- 2011年 「愛知県美術館 テーマ展 水野勝規展 | ライトスケープ」（愛知県美術館）
- 2013年 「monologue」（ギャラリーキャプション/ 岐阜）
- 2015年 「reflections」（「MOVING 2015」、京都芸術センター館内外/ 京都）
- 2016年 「non-fiction」（ギャラリーキャプション/ 岐阜）
- 2019年 「KAATアトリウム映像プロジェクト 水野勝規」（KAAT神奈川芸術劇場/ 横浜）

## 【主なグループ展】

- 2006年 「居心地のよい場所-5丁目44番地の脳内旅行」（文化フォーラム春日井/ 愛知）
- 2007年 「水の情景-モネ、大観から現代まで-」（横浜美術館）
- 2009年 「out of place」（旧嵯峨御所大覚寺門跡/ 京都）
- 「Il Dio delle Piccole cose」（Casa Masaccio/ イタリア）
- 「あいちアートの森~広小路プロジェクト~」（中央広小路ビル/ 名古屋）
- 2010年 「Nelle pieghe del mondo」（Foro Boario/ オリスターノ、イタリア）
- 「panorama-すべてを見ながら、見えていない私たちへ」（京都芸術センター）
- 「木藤純子+水野勝規 2人展」（ギャラリーキャプション/ 岐阜）
- 2012年 「ここも そこも どこかのここで」（松本市美術館/ 長野）
- 2014年 「カミノノクマノ-聖なる場所へ」（三重県美術館）
- 2015年 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2015」（六甲山周辺/ 兵庫）
- 「豊穣なるもの-現代美術 in 豊川」（豊川市桜ヶ丘ミュージアム/ 愛知）
- 2018年 「モネ それからの100年」（名古屋市美術館、横浜美術館へ巡回）

## 【上映会】

- 2004年 「イメージ・フォーラム・フェスティバル2004」 一般公募部門（東京、他5都市を巡回）
- 「遠い声、遠い視野」（イメージ・フォーラム/ 東京）
- 2005年 「イメージ・フォーラム・フェスティバル2005」 日本招待部門（東京、他6都市を巡回）
- 2008年 「イメージ・フォーラム・フェスティバル2008」 ニューフィルム・ジャパン部門（東京、他6都市を巡回）
- 「第13回アートフィルム・フェスティバル」（愛知芸術文化センター/ 名古屋）
- 2010年 「イメージ・フォーラム・フェスティバル2010」 ニューフィルム・ジャパン部門（東京、他5都市を巡回）

## 【受賞歴】

- 「第1回超短編映画『北斎賞』」 準グランプリ（2003年）
- 「イメージ・フォーラム・フェスティバル2004」 一般公募部門審査員特別賞（2004年）

## 中村眞美子 | NAKAMURA Mamiko



「ユキノカゼ・1」

ドライポイント 45.5×210.0(cm) 2017年

- 1972年 長野県生まれ  
 1993年 長野美術専門学校造形学科デザインコース卒業  
 2003年 版画家・故山下孝子氏に師事、版画を始める

## 【主な展覧会】

- 2008年 「第5回武井武雄記念日本童画大賞受賞者三人展」(イルフ童画館／長野)  
 「N-ART展」(ガレリア表参道／長野)  
 2009年 個展「線の続く方へ」(桜華書林／長野)  
 個展「声のかわりに」(酔重ギャラリー／長野)  
 2010年 個展「わたくしごと」(朝陽館 ギャラリー蔵／長野)  
 2011年 「女性版画家三人展」(ガレリア表参道／長野)  
 2012年 「信州新世代のアーティスト展2011 NEXT」(ホクト文化ホール／長野)  
 2013年 個展「中村眞美子版画展 草の風景・秋から冬へ」(ホクト文化ホール／長野)  
 2014年 「アートde NEW YEAR展」(ガレリア表参道／長野)  
 個展「草の風景小品集」(酔重ギャラリー／長野)  
 2015年 「そこにあるものモノクロームの魅力」(小海町高原美術館／長野)  
 個展「中村眞美子ドライポイント作品展 草の風景・秋から冬へ 2」(ホクト文化ホール／長野)  
 2016年 「植物園」(心の花美術館／長野)  
 個展「草の風景・秋から冬へ 2012-2015」(ギャラリーノイエ／長野)  
 個展「冬の草」(酔重ギャラリー／長野)  
 個展「草の風景・冬」(秀友画廊／東京)  
 2017年 個展「中村眞美子版画展 冬の草の風景」(ホクト文化ホール／長野)  
 2018年 個展「冬の草の風景」(ノイエギャラリー／長野)  
 個展「窓辺より」(酔重ギャラリー／長野)  
 「シンビズム2 信州ミュージアム・ネットワークが選んだ20人の作家たち」(須坂版画美術館／長野)  
 2019年 個展「枯れ草のうた」(酔重ギャラリー／長野)

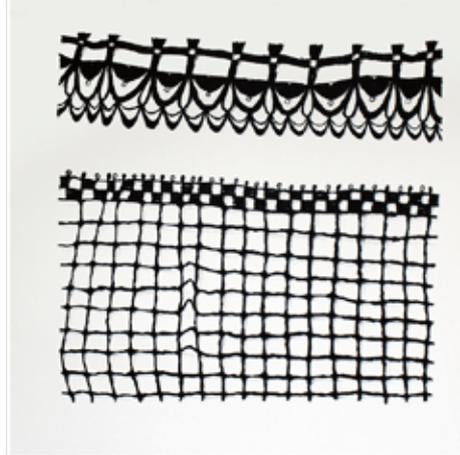
## 【受賞歴】

- 2005年 第4回武井武雄記念日本童画大賞 奨励賞  
 2007年 第5回武井武雄記念日本童画大賞 優秀賞  
 2010年 第7回大野城まどかびあ版画ビエンナーレ展 入選

## 【出版・挿画】

- 画文集「ゆりかご」銅版画／中村眞美子、言葉／ごとうなみ(桜華書林、2008年)  
 信濃毎日新聞コラム 柳澤寿男「心をつなぐタクトの調べ」挿画(2014年4月より1年間)

## 三輪奈保子 | MIWA Naoko



「かたちない空気をつなぎとめて」  
紙に木炭鉛筆 each/ 80.0×80.0(cm) 2017年

1995年 神奈川県生まれ  
2017年 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業  
2019年 東京造形大学大学院造形研究学科造形専攻美術研究領域修了

## 【主な展覧会】

2014年 「第39回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京)  
2015年 「刷りすり」(文房堂ギャラリー/東京) <'16>  
「第40回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京)  
2016年 「第41回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京)  
2017年 「front of me」(Gallery Lara Tokyo/東京)  
「Form Color String」(東京造形大学ZOKEI Gallery/東京)  
「Cross line 2017」(東京造形大学ZOKEI Gallery/東京)  
「第42回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京)  
2018年 「in front of me」(東京造形大学ZOKEI Gallery/東京)  
「第12回 大学版画展受賞者展」(文房堂ギャラリー/東京)  
「第43回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京)  
2019年 「Black and White Friday Night Viewing Event 夜観白黒」(TOBIN OHASHI GALLERY/東京)  
「第13回大学版画展受賞者展」(文房堂ギャラリー/東京、東北芸術工科大学/山形へ巡回)

## 【受賞歴】

2017年 「第42回 全国大学版画展」優秀賞(町田市版画美術館/東京)  
2018年 「第43回 全国大学版画展」優秀賞(町田市版画美術館/東京)  
2019年 「2018年度 東京造形大学大学院修士論文・修士制作展」ZOKEI賞

## 【パブリック・コレクション】

町田市版画美術館(東京)